

宮島地域コミュニティだより

平成 31(2019)年 3 月発行

編集・発行／宮島地域コミュニティ推進協議会

TEL : 44-2000 FAX : 44-2008

ホームページ <http://mivako.hatnet.jp/> ブログ <http://mivajimal.exblog.jp/>

宮島環境標語コンテスト入選作品発表

地域の自然から、省エネ、リサイクルまで、環境を大切に
する行動に結びつけるきっかけとするため、多くの方が継続
して参加できる環境活動の一つとして平成26年度から環境
標語を募集しています。

今年の応募総数は109作品で、その中から当協議会など
の構成員による選考で、次の15作品を入選としました。

また、宮島学園の入選作品のうち、1作品が、広島県環境
保健協会主催の環境標語コンクールにも入選しました。

宮島学園の入選者については、1月7日の始業式に併せて
表彰式を行いました。



平成30年度 宮島環境標語コンテスト入選作品一覧

(敬称略)

(一財) 広島県環境保健協会 環境標語コンクール同時入選作品 (奨励賞)

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| ・かみの島 ゆたかな自ぜんを 大せつに | 【宮島学園3年 村上 幸聖】 |
| ・しぜんはね みやじまの人の たからもの | 【宮島学園2年 渡邊あかり】 |
| ・みらいへつなげ うつくしいみやじま ゆたかな心 | 【宮島学園3年 竹内 豊】 |
| ・つないでく みらいのみやじま たいせつに | 【宮島学園3年 山内あやめ】 |
| ・緑の森 それを消すのはわたしたち それを残すのもわたしたち | 【宮島学園4年 坪田 明美】 |
| ・めざそうよ ゴミ一つない 宮島を | 【宮島学園5年 瀧谷 篤生】 |
| ・きれいにしたい そういう気持ちを大切に | 【宮島学園5年 楠原 響】 |
| ・海や山 自然豊かな 厳島 | 【宮島学園6年 谷口 晃輝】 |
| ・守ろうよ 私の宮島 みんなの宮島 | 【宮島学園6年 田房 鈴】 |
| ・守りたい 自然あふれる 宮島を | 【宮島学園8年 尾高 光】 |
| ・それってさ やっていいこと わるいこと? | 【宮島学園8年 木谷 希実】 |
| ・守りたい この宮島を 未来へと | 【宮島学園9年 長谷川由依】 |
| ・宮島は 自然豊かな 神の島 | 【宮島学園9年 早川 守隼】 |
| ・生まれ継ぐ ミヤジマトンボの 島であれ | 【一般 谷野 多枝子】 |
| ・まあいいか、で 捨てるゴミ チリも積もれば山となる | 【一般 沖野 里美】 |

ごみの減量化等に関する出前トーク開催 ～ 生活・環境部会 ～

1月24日（木）、宮島市民センターにおいて、市の廃棄物対策課職員の説明による「ごみの減量化等に関する出前トーク」を開催しました。

【市のごみの現状】年間ごみ排出量は、大型ごみの有料化や指定ごみ袋制を導入した際に、一旦減少したもののその後は、ほぼ横ばいで推移し、減少していない。

(H22年度34,696 t H29年度：36,581 t)

【ごみの減量化】家庭から出る燃やせるごみの約4割が生ごみであり、使いきり・食べきり・水切りの「3きり

運動」を行うことで減量化できる。また、食品・日用品の紙箱、ティッシュの箱、封筒・はがき（ゼロハンは取る）、トイレトペーパー・ラップの芯（つぶして平らに）などは、金具・ビニールなどを取り外せば、「雑がみ」として資源ごみで出すことで減量化できる、とのことでした。

【新ごみ処理施設の概要】廿日市・佐伯・大野にある処理施設を1箇所を集約し、効率的・効果的な廃棄物処理システムを構築するため、木材港南に新施設「はつかいちエネルギークリーンセンター」を建設し、平成31年4月から稼働予定である。これにより、年間のごみ処理経費も約17億円から約13億円へ節減できる見込みである、とのことでした。

【家庭系可燃ごみ（燃やせるごみ）の有料化】有料化の方針としては、家庭系可燃ごみの「燃やせるごみ」が対象で、有料指定袋が45リットル袋1枚で45円（1リットル＝1円）とし、2020年4月1日から実施を考えている。有料化により、ごみの排出量に応じた処理費用の負担の公平性の確保と市民サービスの向上及び拡充を図ることとしている。有料化にあたっては、4月以降、全地域（市民センター単位）を対象とした説明会の開催や広報・ホームページなどで周知・啓発に努めることとしている、とのことでした。

【その他】電動生ごみ処理機の処理物サンプルの展示やスマートフォン向けのごみ分別アプリの紹介などがありました。

現在、燃えるものとして出しているごみの中にもきちんと分別して出せば資源ごみになるものや量を減らせるものがあるので、有料化に備えて、ごみの減量化に取り組んでも良いかもしれませんね。

◆吉和・宮島チャレンジ交流事業 ～ 宮島学園 ～

2月5日（火）、今年も冬のチャレンジで吉和へ行きました。雪遊びができることを期待していましたが、残念ながら暖冬のため叶わず。でも、体育館では、シュートゲームを楽しみ、大広間ではジャンボカルタに歓声を上げていました。4年生は2年目の交流で4年生の友達とすっかり意気投合し、3年生は来年に向けて3年生の友達と交流を深めていました。昼食後の少しの時間を使って、わずかな雪を楽しむ時間もありました。道端に残った雪を使って、雪合戦や雪だるま作りをしました。次の機会には、雪の吉和にいけるといいですね。

